

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO法人えにわスマイル保育園 ハッピーテラスキッズ えにわスマイルルーム			
○保護者評価実施期間	2026/3/2		～	2026/3/11
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	4人
○従業者評価実施期間	2026/3/2		～	2026/3/11
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	2026/3/12			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育園と併設しているため、園との連携が取りやすく、お子さまの様子や成長について情報共有を行いながら支援につなげることができている	行事などの機会を通して、療育の場面に限らずお子さまの日頃の様子を観察し、一人ひとりの理解を深めることを意識して取り組んでいる	保育所等訪問支援に直接携わっていない職員についても、関係機関との理解や連携が深まるよう、積極的にかかわる機会を設けていきたい また、感染症の流行等により人員が不足した際には、状況に応じてお手伝いに伺うなど、柔軟に連携を図っている
2	プログラム内容を固定していないため、お子さま一人ひとりの特性や発達段階に合わせて教材を選択し、柔軟に支援を提供することができる	終礼の際にその日のお子さまの様子について職員間で共有し、教材の難易度や継続の必要性などについて話し合いながら支援内容の見直しを行っています また、お子さま一人ひとりの特性や発達に応じて教材を一から作成するなど工夫しながら支援を行っている	現在行っている取り組みを継続しながら、お子さま一人一人に合った支援が提供できるよう、より一層充実を図っていく
3	個別療育を行っているため、園での集団生活の中では取り組みにくい課題についてもお子さま一人ひとりに合わせて支援を行うことができる	パーテーションを活用し、お子さま一人ひとりの特性や状況に応じて環境調整を行うなど、安心して活動に取り組める環境づくりを心がけている	お子さま一人ひとりに応じたプログラムの作成や検討を適宜行うと共に、環境の見直しを行いながら、お子さまに寄り添った安心して過ごせる空間づくりに努めていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	園がお休みの場合には事業所の利用もお休みとなることが多く、送迎時など限られた場面での関わりとなることがある	新しい事業所であるため、運営体制や情報共有の方法などについて、まだ十分に整理しきれていない部分があり、情報伝達の方法が明確でない場面があったこと	変更があった際にはその都度職員間で確認を行い、情報共有の方法や連絡体制について見直しを行いながら、より円滑な情報伝達が出来るように努める
2	パーテーションを使用して空間を区切っているため、状況によっては十分な防音が難しく、隣の活動の音が聞こえる事がある また、パーテーションの使用方法についても、安全面に配慮しながら環境設定を行う必要がある	支援スペースが個室ではなく、パーテーションで空間を区切る構造となっていること	安全面や環境面への配慮として、棚を設置した重さのある棚を仕切りとして活用することで、安全性を確保するとともに、教材の整理や空間の区分にもつながっている
3	壁や床が硬い構造となっているため、支援が必要なお子さまが安心して活動できるよう、安全面への配慮をさらに行っていく必要がある	建物の構造上、壁や床が硬いつくりとなっているため安全面に配慮した環境づくりをより意識していく必要がある	安全性への配慮として、床や壁にクッションマットを設置し、事故防止につながる環境整備に取り組んでいる